

## 天 祿 星

この星は人生にたとえますと、壮年期を迎えた時代、それが天禄星の世界なのです。

夢を追い求めた若き日、ガムシャラに頑張った青春の思いで。いろいろな体験と人生の知恵を、その根底において、じっくりと未来を見つめる重厚な思索、そこに天禄星の重みが存在するのです。

世の中には守らなければならない約束があることも、人間の力量には限界が存在していることも、あるいは悲しい事・楽しい事なども、体全体で学んでいく世界です。

この壮年期の知恵と落ち着きと、力強さが、安定・用心深さ・堅実・観察力などの表現になるのです。

壮年期の安定は、人間生活の中にあって、中堅の地位を保ち、冒険に走らず、守備力は堅いのです。  
それが、外面から見れば用心深く、と気には小心者にさえ見える世界なのです。(それは小心者どころか、**安定・堅実を第一と考える勇気ある者の姿**なのです。)

何事に関しても常に全体的な観察力を持ち、まわりとバランスを上手に取りながら行動を起こし、争いがなく(もし闘争に至れば、敢然と戦うだけの勇気も持ち合わせてはいますが、まずは説得を試みてから次の行動を考えるという、ゆとりを失わないのです)

また仕事など、自分に課せられた役割に対しては、実に粘り強く途中で退く事は決していない世界でもあるのです。

天 禄 星 中 殺	<p>この用心深さをもつ天禄星世界が、変化をして正反対の現象であらわれ、他人からだまされやすくなりますし、冒険を好まない守備力の堅いはずのこの星が訳もなく衝動的に行動に走ったりするのです(用心深いことの表現に、石橋を叩いて渡るということわざがありますが、天禄星が中殺されると、石橋を渡った後から橋をで叩くような意味のない行動をするのです。それは目のコトに振り回されたり、長期的な観察力にも乏しくなって、冷静な判断力にも欠ける性情が生れて来るからなのです)天禄星中殺のある人は大運中殺が陰転したときのように「運勢が陰転」します(つまり、ツキに見放されやすく落ち込みやすい運勢と云う事です。それも他人のトラブルに巻き込まれたり、卑劣な中傷のため…といった他力的な影響で運勢を下げるのが特徴です。このひと本人には何の問題がないだけに厄介なことです)しかし天禄星の人が、若いとき苦労をなさった人でしたら、後年必ず運勢が上昇し金銭的にも恵まれます。</p> <p>女性の場合は、結婚運・家庭運の悪さが顕著に出ます。(家庭運に出た場合は、夫との考え方の相違からおこるいさかいが殆どで、人によっては新婚早々から派手な夫婦喧嘩をしたりします。ただし、離別までにはいたらないでしょうが、いろいろするような生活が続くでしょう。)</p> <p>いずれにしても、天禄星中殺のある人はお人好しで、うそをついたり人をだましたり出来ない性分ですが、運勢が上向いてきますと負けん気が出て来るため、人によっては絶えず争いをして喧嘩っ早くなります。</p>
-----------------------	---